

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	<table border="1" data-bbox="783 636 1129 931"><tr><td data-bbox="783 636 898 931">3</td><td data-bbox="898 636 1013 931">2</td><td data-bbox="1013 636 1129 931">1</td></tr></table>	3	2	1
3	2	1		
分割撮影した理由	A 3 版 以上 の た め			
文書等名	第 1 中 隊 編 成 表			
上記のとおり分割撮影したことを証明する。				

第 十 分 隊	第 九 分 隊	第 八 分 隊	第 七 分 隊	第 六 分 隊	第 五 分 隊	第 四 分 隊	第 三 分 隊	第 二 分 隊	
通 16 12 後 補 後 妻 妻 妻 高 久 山 木 田 吉 田 一 吉 那 决	通 16 11 16 14 15 後 前 後 前 妻 妻 妻 木 小 柳 陽 新 福 菅 林 野 藤 田 新 葉 園 茅 野 志 算 葉 正 平 那 志 中 文 権 秋	通 16 15 14 後 前 後 妻 妻 妻 田 北 那 小 形 飯 中 環 志 川 山 塚 茅 六 那 平 那 男 那 平 那	通 16 15 14 16 18 14 後 前 補 後 妻 妻 妻 本 藤 藤 龍 四 唐 本 本 田 永 崎 龍 文 徳 格 林 正 一 作 之 那 夫 義 夫 如	通 16 14 15 後 前 妻 妻 妻 妻 夜 小 岡 小 柳 井 辺 口 崎 野 藤 一 二 幸 武 切 男 那 聰 延 雄 美	通 16 15 後 前 妻 妻 妻 左 志 高 平 清 岡 藤 原 野 水 山 志 真 敏 昭 那 猛 志 司 一	通 16 15 16 15 後 前 補 前 妻 妻 妻 遠 石 長 細 金 岸 藤 川 野 田 上 程 正 正 一 育 長 助 雄 美 男 根	通 16 15 14 後 前 妻 妻 妻 左 藤 野 大 興 今 司 藤 澤 万 井 井 正 藤 澤 川 野 野 直 那 志 那 聖 嘉 通 那 朋 夫 夫	通 16 15 14 後 前 妻 妻 妻 齊 石 管 岩 大 荒 藤 野 野 野 野 野 香 野 野 野 野 野 藤 野 野 野 野 野	通 16 15 14 後 前 妻 妻 妻 現 山 上 崎 徳 健 一 郎

第 十 分 隊	第 九 分 隊	第 八 分 隊	第 七 分 隊	第 六 分 隊	第 五 分 隊	第 四 分 隊	第 三 分 隊	第 二 分 隊	
16 12 後 補 後 妻 妻 妻 高 久 山 木 田 吉 田 一 吉 那 决	16 11 16 14 15 後 前 後 前 妻 妻 妻 木 小 柳 陽 新 福 菅 林 野 藤 田 新 葉 園 茅 野 志 算 葉 正 平 那 志 中 文 権 秋	16 15 14 後 前 後 妻 妻 妻 田 北 那 小 形 飯 中 環 志 川 山 塚 茅 六 那 平 那 男 那 平 那	16 15 14 16 18 14 後 前 補 後 妻 妻 妻 本 藤 藤 龍 四 唐 本 本 田 永 崎 龍 文 徳 格 林 正 一 作 之 那 夫 義 夫 如	16 14 15 後 前 妻 妻 妻 妻 夜 小 岡 小 柳 井 辺 口 崎 野 藤 一 二 幸 武 切 男 那 聰 延 雄 美	16 15 後 前 妻 妻 妻 左 志 高 平 清 岡 藤 原 野 水 山 志 真 敏 昭 那 猛 志 司 一	16 15 16 15 後 前 補 前 妻 妻 妻 遠 石 長 細 金 岸 藤 川 野 田 上 程 正 正 一 育 長 助 雄 美 男 根	16 15 14 後 前 妻 妻 妻 左 藤 野 大 興 今 司 藤 澤 万 井 井 正 藤 澤 川 野 野 直 那 志 那 聖 嘉 通 那 朋 夫 夫	16 15 14 後 前 妻 妻 妻 齊 石 管 岩 大 荒 藤 野 野 野 野 野 香 野 野 野 野 野 藤 野 野 野 野 野	16 15 14 後 前 妻 妻 妻 現 山 上 崎 徳 健 一 郎

第 十 分 隊	第 九 分 隊	第 八 分 隊	第 七 分 隊	第 六 分 隊	第 五 分 隊	第 四 分 隊	第 三 分 隊	第 二 分 隊
通 15 11 後 補 後 妻 妻 妻 高 久 山 木 田 吉 田 一 吉 那 决	通 15 11 後 補 後 妻 妻 妻 高 久 山 木 田 吉 田 一 吉 那 决	通 15 11 後 補 後 妻 妻 妻 高 久 山 木 田 吉 田 一 吉 那 决	通 15 11 後 補 後 妻 妻 妻 高 久 山 木 田 吉 田 一 吉 那 决	通 15 11 後 補 後 妻 妻 妻 高 久 山 木 田 吉 田 一 吉 那 决	通 15 11 後 補 後 妻 妻 妻 高 久 山 木 田 吉 田 一 吉 那 决	通 15 11 後 補 後 妻 妻 妻 高 久 山 木 田 吉 田 一 吉 那 决	通 15 11 後 補 後 妻 妻 妻 高 久 山 木 田 吉 田 一 吉 那 决	通 15 11 後 補 後 妻 妻 妻 高 久 山 木 田 吉 田 一 吉 那 决

附表第二

第一中隊業務分擔表

昭和十八年六月一日

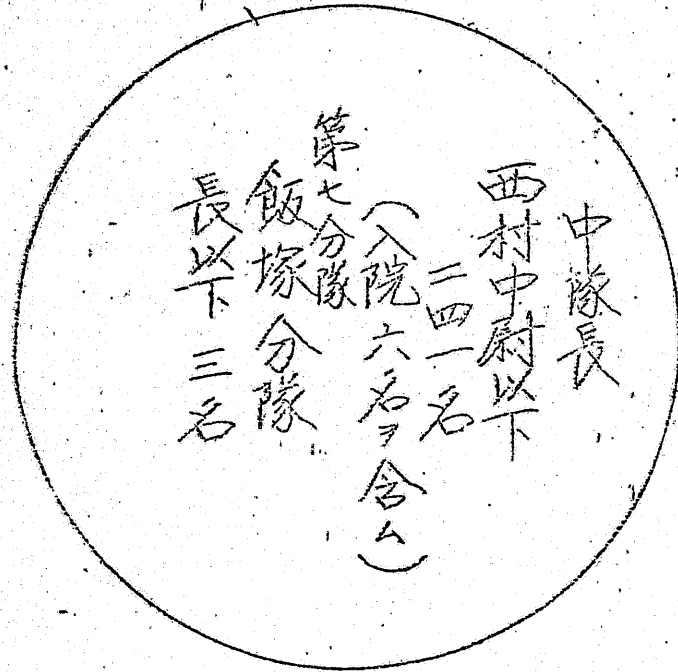
考備	尉		中		村		西		戰		作		長隊中				
	育	教	理	經	器	兵	功	績	事	人	務	庶	戰	作	分		
一 本表、如ク定ムルト雖モ作戦業務、繁ク應以相互協力業務、圖消シテトス 一 (一) 内ハ副擔任者トス 一 (四) ハ兼務ヲ示ス	育 幹部全員	教 中隊長	衛生 ⑤ 佐藤少尉	理 杉見習士官	經 ⑥ 飯島曹長	器 阪本曹長 森山曹長	兵 大石軍曹	功 酒井兵長	績 園田上等兵	事 鏑兵長	村 早川准尉	務 近藤伍長	庶 古山二等兵 内山二等兵	戰 佐藤少尉	作 飯島曹長	長隊中	
				⑦ 坂出伍長	⑧ 阪本曹長									中村上等兵	下和田等兵	分	
				前田上等兵	門前等兵												分
																	業務

附表第三

第一中隊展開一覽表 (其一南京地區)

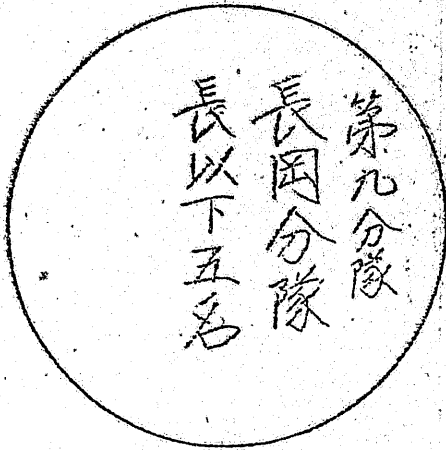
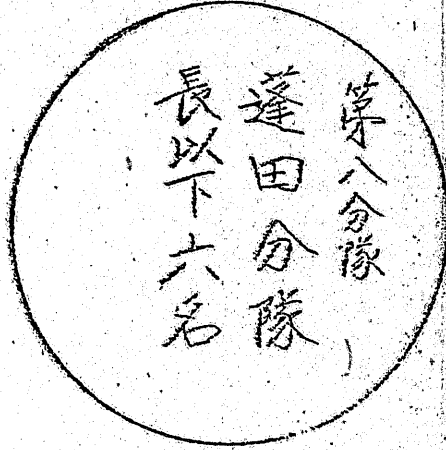
第十五航空通信隊

六月一日現在



第十五野戰航敵第五分隊

城外飛行場



師團合通



0560

附表第三

第一中隊展開一覽表

(其二漢口地區)

六月一日現在

十六航空地區司令部

特情班

第二分隊
今井分隊
長以下六名

第三分隊
岸上分隊
長以下六名

合 通

第一分隊
草山分隊
長以下十八名
(保線兵四名含之)
作業班
柳沼分隊
長以下二十一名

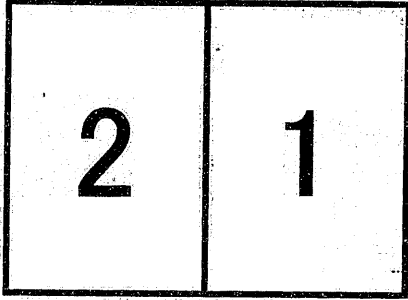
十九飛行場中隊

六十七飛行場中隊

第四分隊
岡山分隊
長以下六名

第五分隊
伊藤分隊
長以下六名

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 版 以 上 の た め
文書等名	保線作業状況一覧表
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

附表第四

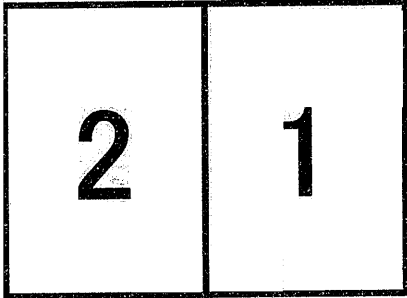
保線作業状況一覽表(障碍時除く)

地名	通信諸元	作業状況	使用器材
漢	送信所	六月八日 至 一七三〇。芳賀一等兵以下三名 合通ヨリ七〇米。地共高射砲隊前ニ於テ線路弛緩シ短絡状態ナリ之張線作業ヲナス 尚 至一八五。芳賀一等兵以下三名 合通一合通内務班ノ電話系ノ撤収作業ヲナス	不制式被覆線 四〇米撤収ス
漢	5金	六月六日 至 一八九〇。芳賀一等兵以下三名 合通ヨリ一五米。地共於テニテ短絡シテアリ尚橋口路ニ於テ處處々弛緩シ短絡虞アル為張線作業ヲナス	不制式被覆線 六〇米
漢	11ATL	六月三日 至 一八九〇。芳賀一等兵以下三名 宮原隊ヨリ約五〇米。地共(鐵道線路)ニテ他部隊電柱根元腐蝕ノ為傾斜シ本線ニ短絡状態ナルニ依リ一方支線取付作業ヲナス	
漢	15FN	六月九日 至 一八九〇。芳賀一等兵以下三名 名越部隊ヨリ六〇米。地共ニテ他線三條断線シ本線ニ短絡シテアリ之が保修作業ヲナス	
漢	武昌	六月十一日 至 一七三〇。芳賀一等兵以下三名 通信所移轉ニ伴ヒ所内配線作業ヲナス 六月十一日 至 一七〇〇。芳賀一等兵以下三名 前日ニ引續キ所内配線作業ヲナス 〇七〇。配線終了ス 尚 芳賀一等兵以下三名六日構成セシ遠探線一條通信所撤収ノ為撤収ス	不制式被覆線 六〇米撤収
漢	163B	六月十三日 至 一七三〇。芳賀一等兵以下三名 特情ヨリニ〇米。地共江漢路ニ於テ數條他隊被覆線。本線ニ短絡状態ナル為之ノ整理ヲナス	
漢	武昌	六月十八日 至 一七三〇。芳賀一等兵以下三名 武昌一合通向保線セシモ異状ナシ武昌軍交換ニテ切断点檢セル結果九十六飛行場大隊門通信所ノ電信機不良ト判明ス	
漢	5金	六月十九日 至 一八九〇。芳賀一等兵以下三名 六十七飛行場中隊ヨリ約三〇米。地共ニ於テ本線樹木ニ接觸地共状態ナル為之ヲ撤収其他線路異状ニ	
漢	宮原隊	六月二十日 至 一八九〇。芳賀一等兵以下三名 合通ヨリ一〇米。地共於テ他線弛緩シ本線ニ短絡状態ナルヲ以テ他線補修ヲナス	
漢	宮原隊	六月二十日 至 一八九〇。芳賀一等兵以下三名 合通ヨリ一〇米。地共於テ他線弛緩シ本線ニ短絡状態ナルヲ以テ他線補修ヲナス	

0562

0563

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3 版 以 上 の た め
文書等名	障害状況一覧表
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

京 地 區

三ノ毛

五ノ金
○ルンマ

ナトモ
○
城井井

<p>六月十七日 三ノ毛 良好ナルルンマ一ヨホモ同感度低 下ニ通信ニ稍困難ニ来ルヨリ十八日 〇〇〇〇ニ至リ自然回復ス 原因ハ風ニ依ル短絡又ハ樹木が接觸シテ 地氣セルメナリヤト思フス</p>	<p>六月十八日 〇〇〇ルンマ一ヨホモ同感度 ク通信稍困難ナル保線ノ結果良好トナル 原因ハ高層内鉄道越附近ノ重量大ニテ 風ノ為他線ニ接觸セルモノナリ</p>	<p>六月二十日 〇〇〇ルンマ一ヨホモ同感度 低下シ通信困難ヲ来ス保線ノ結果回 復ス原因ハ國民政府前及銃軍司令 部附近ノ樹木が接觸シテ地氣セルニ依ル</p>	<p>六月二十一日 〇〇〇ルンマ一ヨホモ同感度 混信ト共ニ感度低下シ厚々感度皆無ト ナル保線ノ結果回復セリ</p>	<p>原因ハ總軍裏及鉄道附近ニ於テ樹木 ニ接觸シ又風ニ依リ短絡セルモノナリ</p>	<p>六月二十一日 〇〇〇ルンマ一ヨホモ同感度 中感度比皆無トナル保線ノ結果一七三〇感 度ニトナリニ〇〇〇ニ至リ完全ニ回復セリ 原因ハ國民政府前線ノ樹木が接觸シテ 短絡總軍司令部及師團前線ノ保線 ノ短絡セルモノナリ</p>	<p>六月二十四日 〇〇〇ルンマ一ヨホモ同感度 厚々感度低下シテ通信困難トナリニ〇〇 ニ至リ自然回復セリ 原因ハ樹木ニ接觸セルモノト思フス</p>	<p>六月二十五日 〇〇〇ルンマ一ヨホモ同感度 感度低下セルモ通信ニ支障ナレ 保線ノ結果良好トナル 原因ハ光華門前線ノ樹木が接觸シテ 換点ニ於テ短絡セルモノナリ</p>	<p>六月二十六日 〇〇〇ルンマ一ヨホモ同感度 感度低下シ通信稍困難ナルモ支障ナレ ニ〇〇〇ニ至リ自然回復セリ 原因ハ雨ノ為地氣セルモノト思フス</p>	<p>六月二十七日 〇〇〇ルンマ一ヨホモ同感度 混信アリ厚々感度低下シ通信困難トナ ル保線ノ結果感度良好トナル 原因ハ光華門前線ノ樹木が接觸シテ 換点ニ於テ短絡セルモノナリ</p>
<p>廣瀨兵長以下六名 保線作業ヲ實施ス</p>	<p>廣瀨兵長以下六名 保線作業ヲ實施ス</p>	<p>廣瀨兵長以下六名 保線作業ヲ實施ス</p>	<p>廣瀨兵長以下六名 保線作業ヲ實施ス 此間ノ電報ハ電話 託送トス</p>	<p>廣瀨兵長以下六名 保線作業ヲ實施ス 此間ノ電報ハ電話 託送トス</p>	<p>廣瀨兵長以下六名 保線作業ヲ實施ス</p>	<p>酒井兵長以下四名 保線作業ヲ實施ス</p>	<p>及本曹長以下七名 保線作業ヲ實施ス</p>	<p>及本曹長以下七名 保線作業ヲ實施ス</p>	

附表第六

各通信所電報取扱通語数一覽表

備考	合	池		漢		口		南		京	
		分隊	名	分隊	名	分隊	名	分隊	名	分隊	名
十分隊(山田分隊)八十四日六分隊(廣瀬分隊)ト任務交代 十一分隊(櫻井分隊)八十日九分隊(長岡分隊)ト任務交代 十二分隊(大田分隊)八十日七分隊(飯塚分隊)ト任務交代 十三分隊(荒屋敷分隊)八十日八分隊(逢田分隊)ト任務交代	計	九五〇五	三五五九三	九六七四	三三三〇九	二〇一	七七二八	一九三八〇	七三二〇	九六	九七
	第一分隊	九二四	三〇一五九	九八七	三八一九二	四七	一一三七	一九五八	六九五八	九	一〇
	第二分隊	八二七	三五二六六	一四〇八	五三三〇一	—	—	二二三五	八七五二七	—	—
	第三分隊	二九九	八二四〇	二七八	八五五五	—	—	五七七	一六七九五	—	—
	第四分隊	二六三	二九三三	二二六	七五七五七	—	—	四七五	一六九五七	—	—
	第五分隊	三七四	一一二四〇	三一九	一〇三三三	—	—	六三三	三六三三	—	—
	第六分隊	一六四	六六三四	二三〇	八二二二	—	—	三二四	一四七七	—	—
	第七分隊	二〇八九	八四三三三	八二四	三三〇四八	—	—	二九〇	一一八二	—	—
	第八分隊	三九六	一一四〇三	四五六	八三〇九	—	—	八二五	三〇七一	—	—
第九分隊	一八三七	七三〇七六	三〇五六	二九二九二	一五四	六四九一	五四七	二八五九	—	—	
合計	九六	九七	九六	九七	九六	九七	九六	九七	九六	九七	

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	<table border="1" data-bbox="805 698 1152 994"><tr><td data-bbox="805 698 922 994">3</td><td data-bbox="922 698 1038 994">2</td><td data-bbox="1038 698 1152 994">1</td></tr></table>	3	2	1
3	2	1		
分割撮影した理由	A 3 版 以上 の た め			
文書等名	漢口作業人員器材編成表			
上記のとおり分割撮影したことを証明する。				

漢口作業人員器杖編成表

森		官 士 習 見 山 杉																		長																	
班 線 架		(長 伍 出 坂)																		班 別 組 別 番 号																	
張	組 線 延	附 輛 車						組 修 補 並 付 取 線 支						班 備 裝						腕 木 曲 柄 子 取 付 組																	
2 11	⑩ 9 8 7 6 5 4 3 2 ①	26 25 24 23 22 21 20	⑨ 18 17 16 15	14 13 12 11	⑩ 9 8 7 6 5 4 3 2 ①																																
角型張線器二 昇柱器(柱上帶)一	手旗 呼子笛 各一	全 右	調線桿 線掛 鉄線鋏 各一	リヤ力一 自轉車 機関銃	全 右	角型張線器 玄翁 昇柱器(柱上帶) 圓匙 片鶴 藤籠 鉄線鋏 螺廻 鈍線掛枝切鎌 各一	全 右	全 右	全 右	全 右	鋸腕木用螺錐 鑿玄翁螺廻 通網 昇柱器(柱上帶) (中碍子螺錐) 各一	腕木 曲柄 子取付組	携 行 器 杖	人 名																							
山 都 筑 啓 人	久 間 勇	堀 川 良 治	高 田 紀 道	秋 山 義 則	坂 元 貴	瀬 戸 定 吉	小 泉 俊 夫	林 尚 行	下 山 親 志	土 屋 實 美	濱 口 義 雄	山 本 勇 松	皆 川 正 三	岩 橋 榮 治	黒 澤 義 雄	芹 澤 辰 壽	村 尾 忠 秀	山 下 徳 志	石 田 頼 章	神 秀 夫	宮 瀬 秀 吉	山 口 金 吾	小 野 泰 作	伊 藤 幸 三	西 村 辰 男	中 村 安 明	田 之 頭 勇 一	齋 藤 正 吉	天 内 傳 三	五 月 女 友 明 士	中 西 士	大 澤 日 出 夫	杉 元 信 義	八 幡 松 次 郎	山 下 善 一	黒 田 藤 松	人 名

0568
0569
0570

森 山 曹 長																																																																																																																																											
(長 伍 森 班 線 牙)																																																																																																																																											
附 輛 車					組 線 留					組 線 張					組 線																																																																																																																												
31	30	29	28	27	26	(25)	24	23	22	21	20	19	18	17	(16)	15	14	(13)	12	11	(10)	9	8	7	6	5	4																																																																																																																
自轉車 二					リヤカー 一					全 右					全 右					全 右																																																																																																																							
自轉車 二					リヤカー 一					全 右					全 右					全 右																																																																																																																							
修 行 正 雄					岩 間 國 義					石 井 長 藏					矢 吹 四 郎					岩 永 武 行					後 藤 真 鳥					葛 谷 良 夫					小 林 金 次 郎					小 山 幸 太 郎					山 田 茂					西 門 龍 右 衛 門					小 林 繁 夫					蔡 政 夫					浅 尾 禎 男					中 山 要 一 郎					八 木 下 三 郎					清 水 清 松					須 田 義 行					小 林 貞 七					山 本 章					都 筑 啓 人					久 間 勇					堀 川 良 治					高 田 紀 道					秋 山 義 則					坂 元 貴					瀨 戸 定 吉					小 泉 俊 夫				

○印ハ組長ヲ示ス

自働車手六名
 裝備班 濱田 與 中島 依夫 相原 孝
 架線班 金倉 正踏 中島 三男 起 篠崎 貞夫
 衛生兵 二名 新加 喜曹長 伊藤 一等兵
 人員 杉山 見習士官以下六十九名
 下士官四名
 兵 六十四名(内三名ハ在漢口)

貨車(二ハ在漢口)
 機 梯 昇 柱
 関 子 銚
 上 柱
 帶 器 子 銚
 一 〇 五 〇 一 三
 軍 肩 呼 枝 鋸
 子 切
 旗 當 笛 鎌
 二 八 五 二 五
 鉄 小 大 中 螺
 線 碍 碍 碍 子 螺
 螺 子 螺 螺 螺
 鋏 錐 錐 錐 廻
 七 四 四 〇 六

長									
(長)									
附 輛 車					組				
31	30	29	28	27	26	(25)	24	23	22
リヤカー 一					全				
自轉車 二					右				
修	岩	石	矢	岩	後	萬	小	小	山
行	間	井	吹	永	藤	谷	林	山	田
正	國	長	四	武	真	良	金	幸	茂
雄	義	藏	郎	行	鳥	夫	次	太	
							郎	郎	
							郎		

○印ハ組長ヲ示ス

自働車手六名
 裝備班 濱田 與 中島 依夫 相原 孝
 架線班 金倉 正踏 中島 三男 起 篠崎 貞夫
 衛生兵 二名 新加 喜曹長 伊藤 一等兵
 人員 杉山 見習士官以下六十九名
 下士官四名
 兵 六十四名(内三名ハ在漢口)

器械

貨車(一八在漢口)	機 關	梯 子	昇 柱	柱 上	通 網	角 型	丸 型	線 張	圓 線	片 鐵	大 鐵
三	一	一	一	一	一	八	六	二	一	一	一
鋸 枝	呼 子	肩 子	軍 帶	中 革	大 革	留 革	腕 木	鏝 水	玄 鑿	鉋 用	鉋 螺
五	二	五	八	二	三	二	一	四	五	六	六
螺 迴	中 錐	大 錐	小 錐	鐵 線	藤 籠	手 籠	手 籠	電 機	足 話	鹿 話	鹿 話
六	一	四	四	七	三	三	四	五	四	三	三

陣營具並被服消耗品

蚊 帳	自 轉 車	リヤカー	自 轉 車	被 服 補 修 品
一〇	三	二	二	若干
洗 濯 石 鹼	殺 虫 液	フマキラー	蚊 取 線 香	若 干
二	二	四	一	二
下 給 品	毛 布	電 池	電 池	防 蚊 手 套 覆 面
若 干	各 人	各 一	各 一	各 五

附表第九

有線主要通信器材現況表

六月十八日現在

品目	區分	主管數	漢口	南京	漢口前門 作業班	修理	在庫	摘要
九三式電話機		六六	二		五六	一	〇	八機中隊負責
九五式電信機		二四	一〇	五			八	
九八式雙信機		五			五		〇	
九三式交換機		五			三		二	
九二式小被覆線		一四七			一四七		〇	
大被覆線		六〇					六〇	
九二式小線卷匡		五					五	
九二式延線器		六					六	
九二式小絡車		一一四					一一四	
九四式大絡車		四					四	
昇柱器		一四	三		五		〇	一器材料隊負責
線出線掛		八			八		〇	
線掛		一一三			三		一〇	
張線器		一一	二		六	三	〇	
折梯子		一一	一		六	二	三	
受話器		六	四				〇	
中革胴乱		三三	三	三	一		六	
大革胴乱		一三	三		五		五	

0571

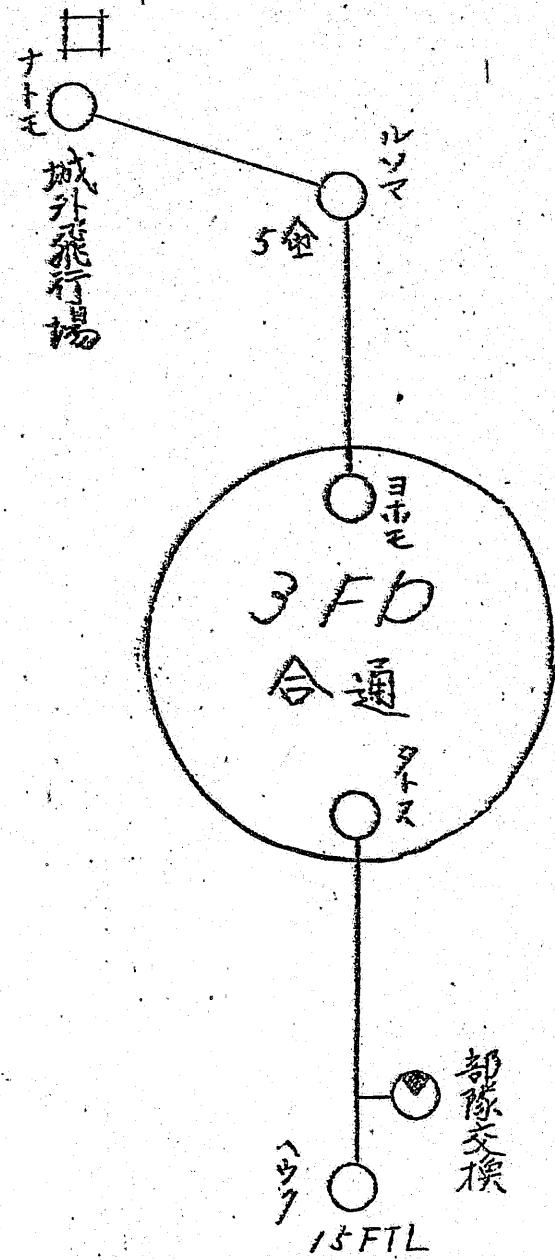
附表第十

有線器機配當一覽表

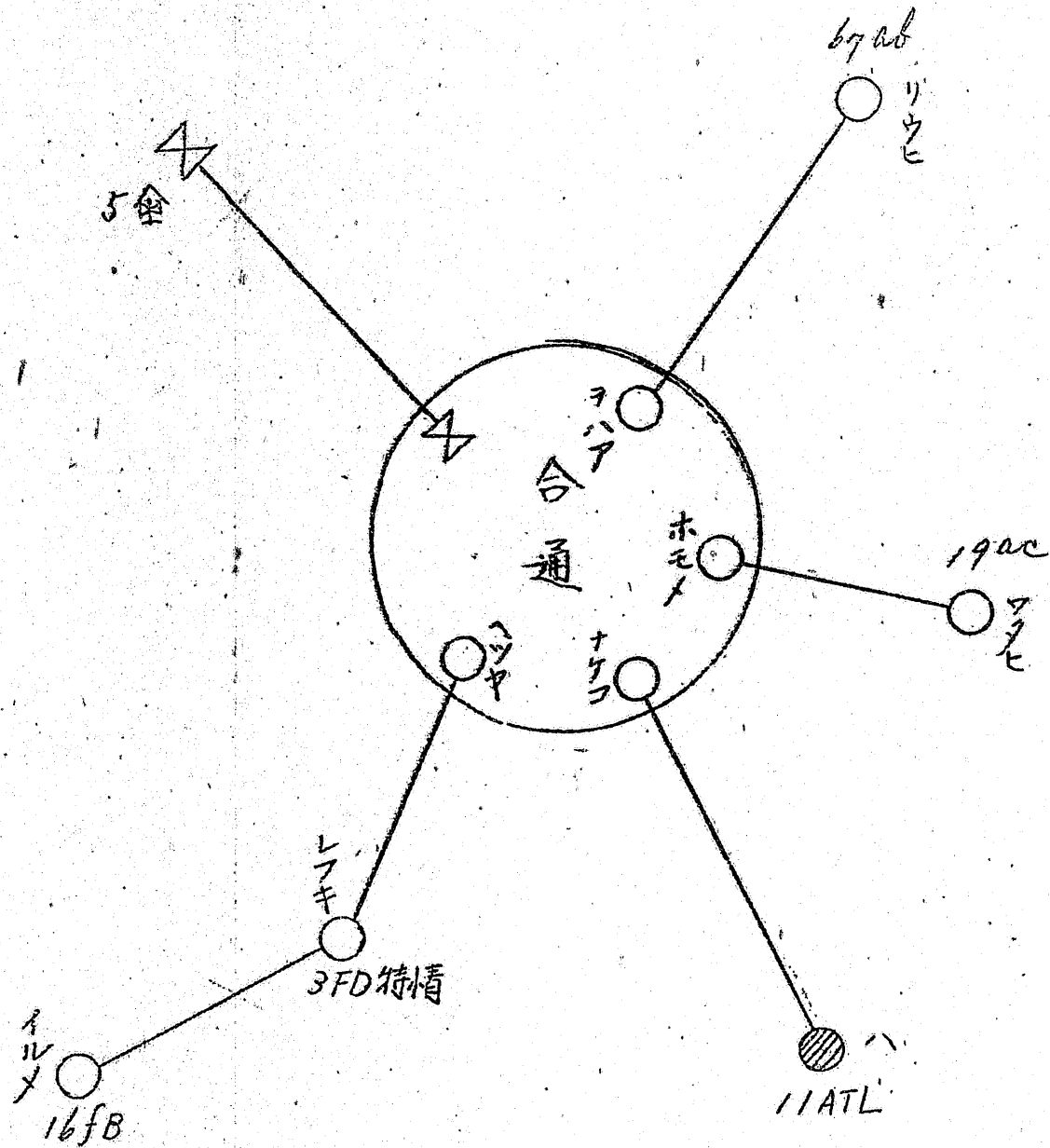
六月十八日現在

貸與	修理提出中	中隊在庫	隊内交換所	漢口 前作業班	南 京 地 區					漢 口 地 區				地 名							
					第一分隊	第二分隊	第三分隊	第四分隊	第五分隊	伊藤分隊	第十分隊	山田分隊	櫻井分隊	第十三分隊	太田分隊	第十七分隊	元屋敷分隊	草山分隊	今井分隊	岸上分隊	周山分隊
八		〇		五																二	機話電式=九
		八			一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	六	機信電式五九
		〇		五																	機信雙式八九
		二		三																	機換交式三九
		〇		四																	線覆被小式二九
		六																			線覆被大
		五																			匡卷線小式=九
		六																			器線延式=九
		二																			車絡小式=九
		四																			車絡大式四九
一	五			五																三	器柱昇
				八																	掛線出線
		一		三																	掛線
	三			六																二	器線張
	二	三		六																一	子撈折
																				四	器話受
		六		二	一		一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	乱朋草中
		五		五																一	乱朋草大

南 京 地 區



漢 口 地 區



附圖第一
有線局地通信網要圖

六月三十日現在

0573

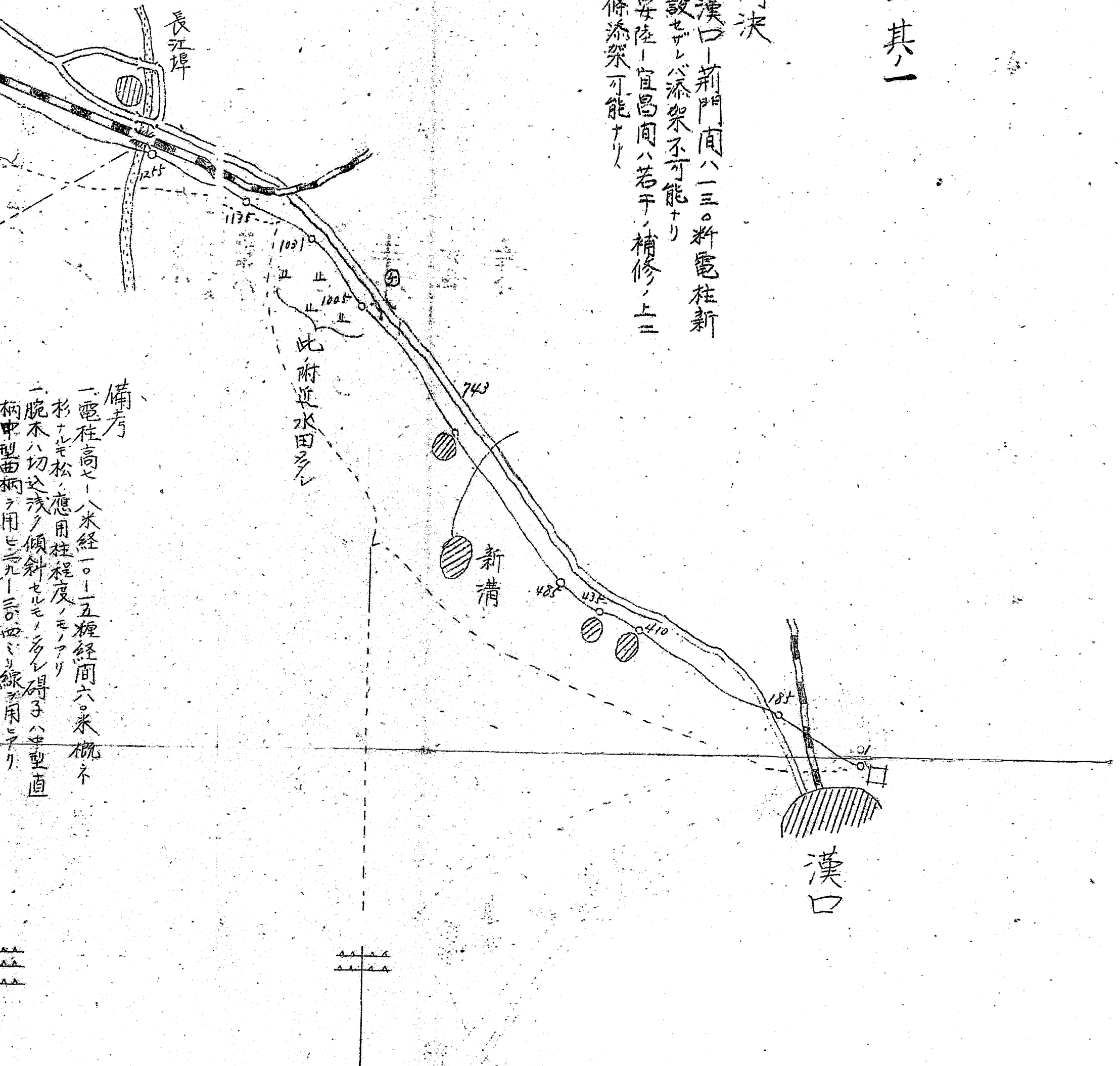
分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	<table border="1" data-bbox="829 627 1125 952"><tr><td>1</td></tr><tr><td>2</td></tr><tr><td>3</td></tr><tr><td>4</td></tr><tr><td>5</td></tr></table>	1	2	3	4	5
1						
2						
3						
4						
5						
分割撮影した理由	A 3 版 以上 の た め					
文書等名	半永久線路偵察要図					
上記のとおり分割撮影したことを証明する。						

附圖第二其一

判決

一漢口―荊門間ハ二三。新電柱新設セザレバ添架不可能ナリ
 二安陸―宜昌間ハ若干ノ補修ノ上ニ條添架可能ナリ

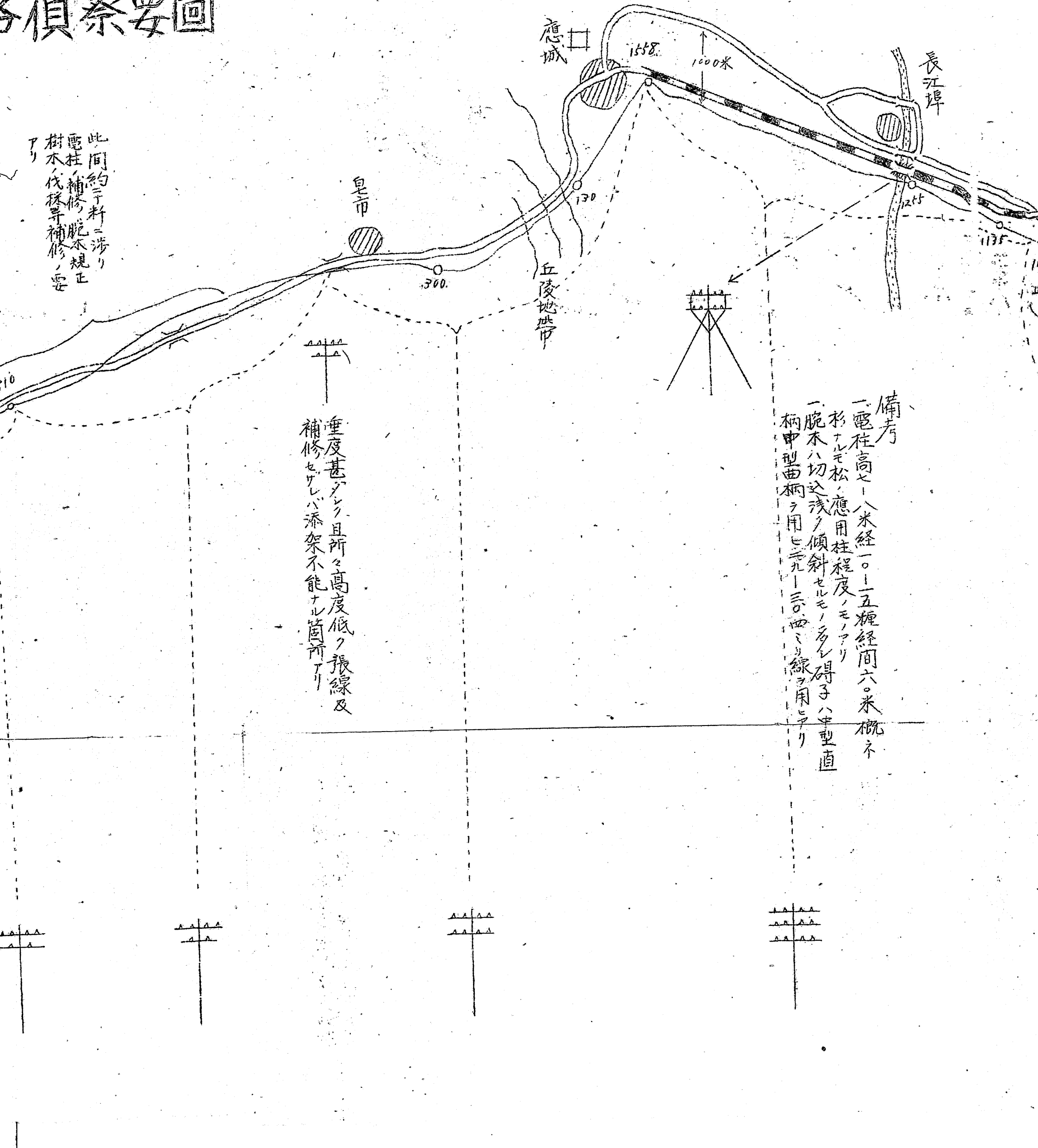


備考

一電柱高七一八米經一〇一五種經間六。米概不
 杉ナルモ松ノ應用柱程度ノモノアリ
 二腕木ハ切込浅ク傾斜セルモノ多シ碍子ハ中型直
 柄申型曲柄ヲ用ヒ三九一三〇四三線ヲ用ヒナリ

圖要察偵

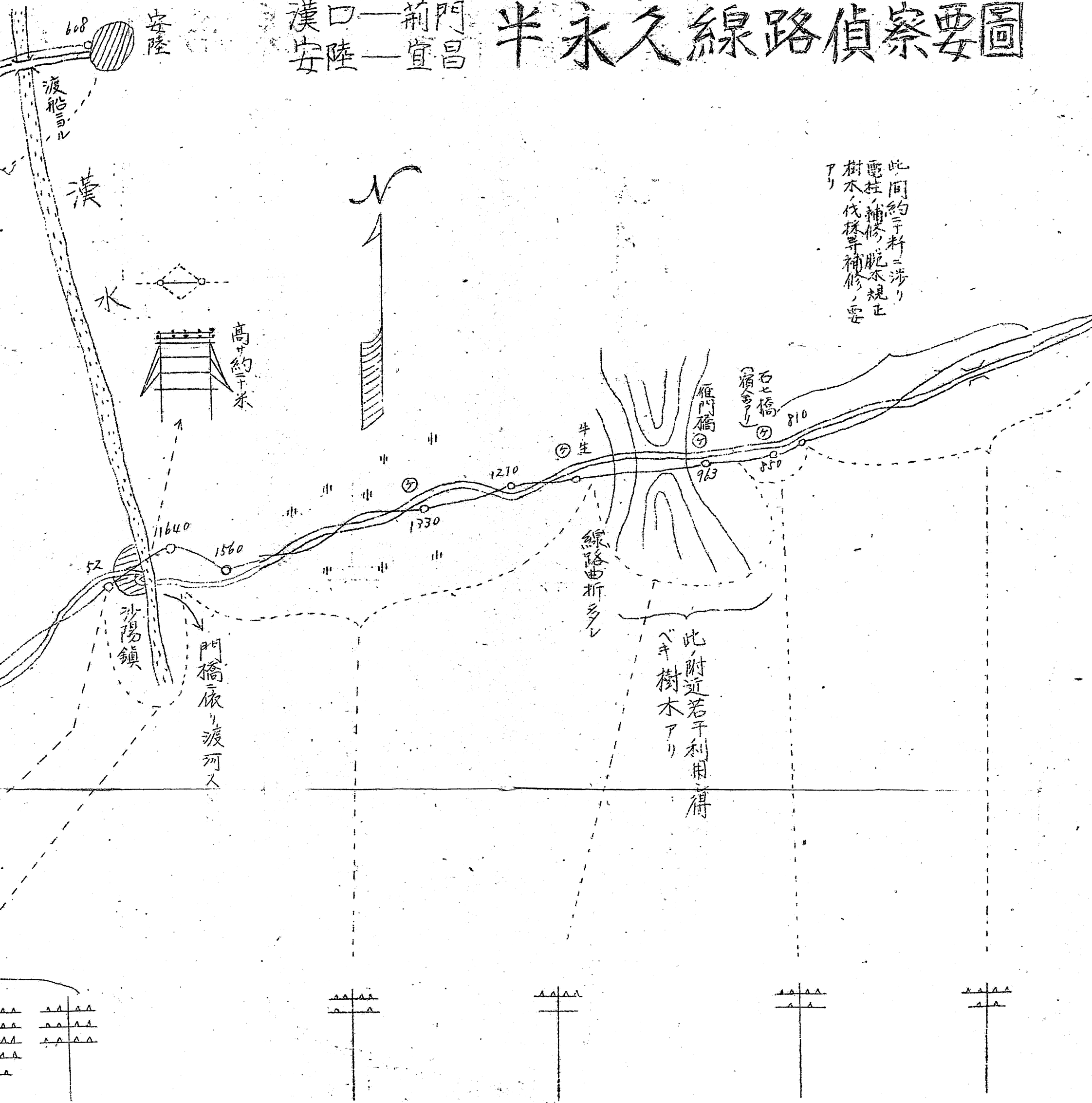
此同約三料ニ涉リ
 電柱補修腕不規正
 樹木伐採等補修ノ要
 アリ



垂度甚ダシク且所々高度低ク張線及
 補修セザレバ添架不能ナル箇所アリ

備考
 一電柱高七一八米經一〇一五桿經間六〇米概ネ
 杉ナルモ松ノ應用柱程度ノモノアリ
 一腕木ハ切込浅ク傾斜セルモノ多ク碍子ハ半型直
 柄申型曲柄ヲ用ヒニ九一三〇四ミリ線ヲ用ヒアリ

漢口—荊門—宜昌
安陸—宜昌
半永久線路偵察要圖



此同約三千料ニ涉リ
電柱補修、腕不規正
樹木伐採等補修ノ要
アリ

此附近若干利用得
ベキ樹木アリ

線路曲折多シ

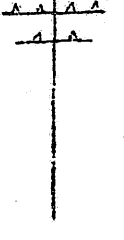
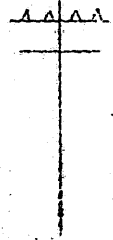
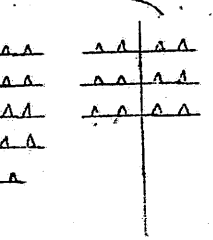
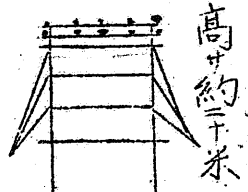
門橋依リ渡河ス

沙陽鎮

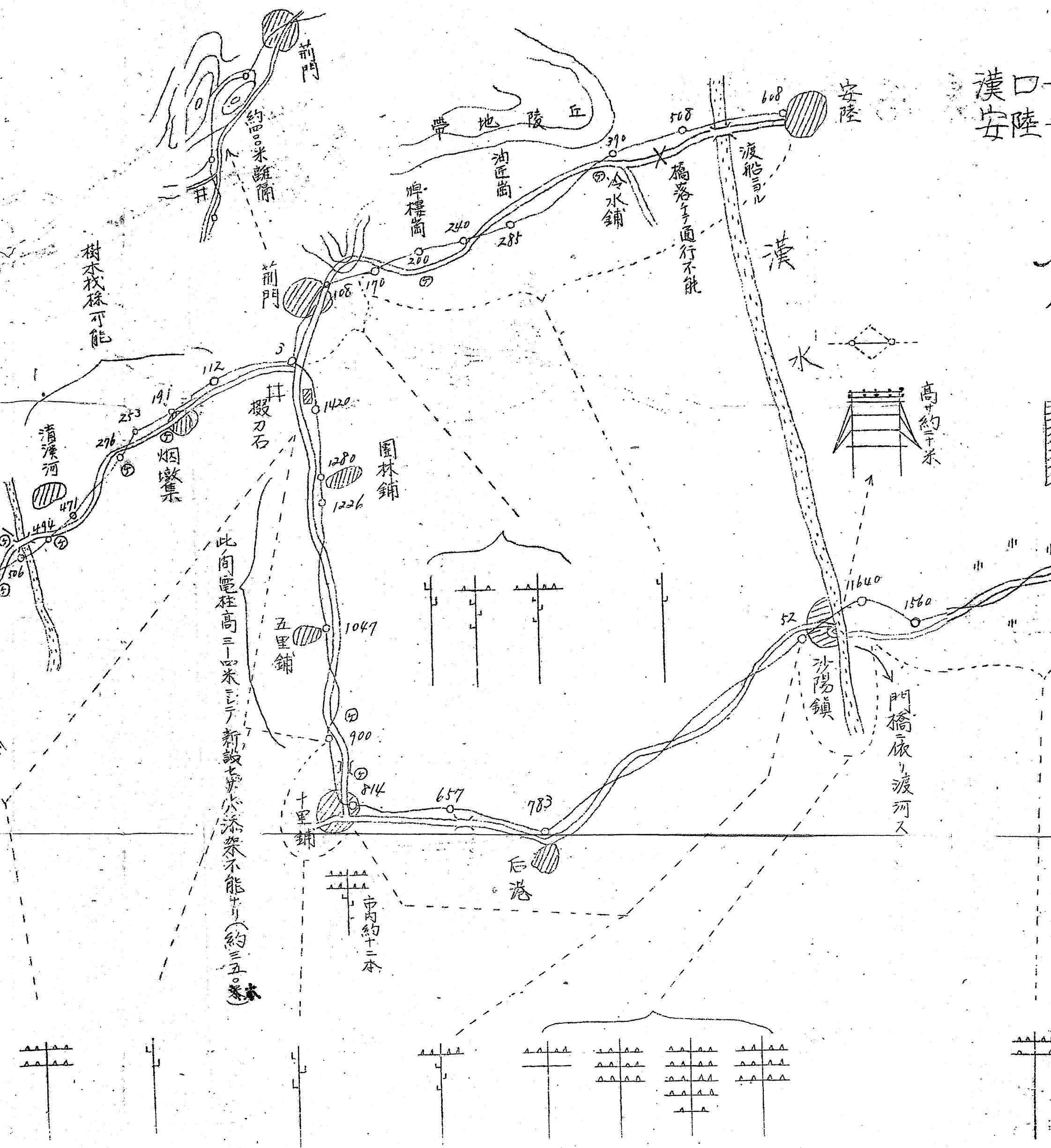
荊門橋

石上橋

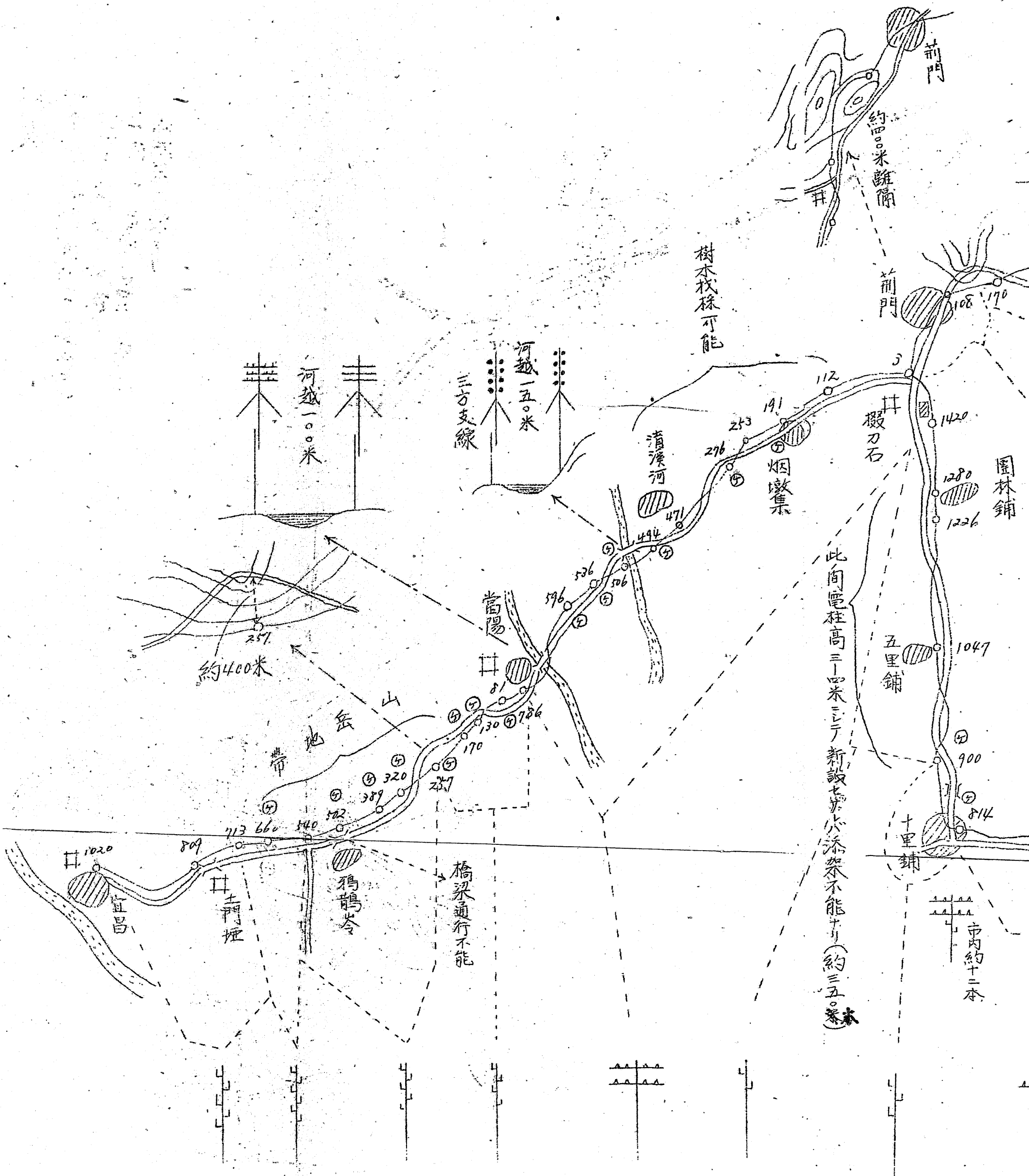
牛生



漢口安陸

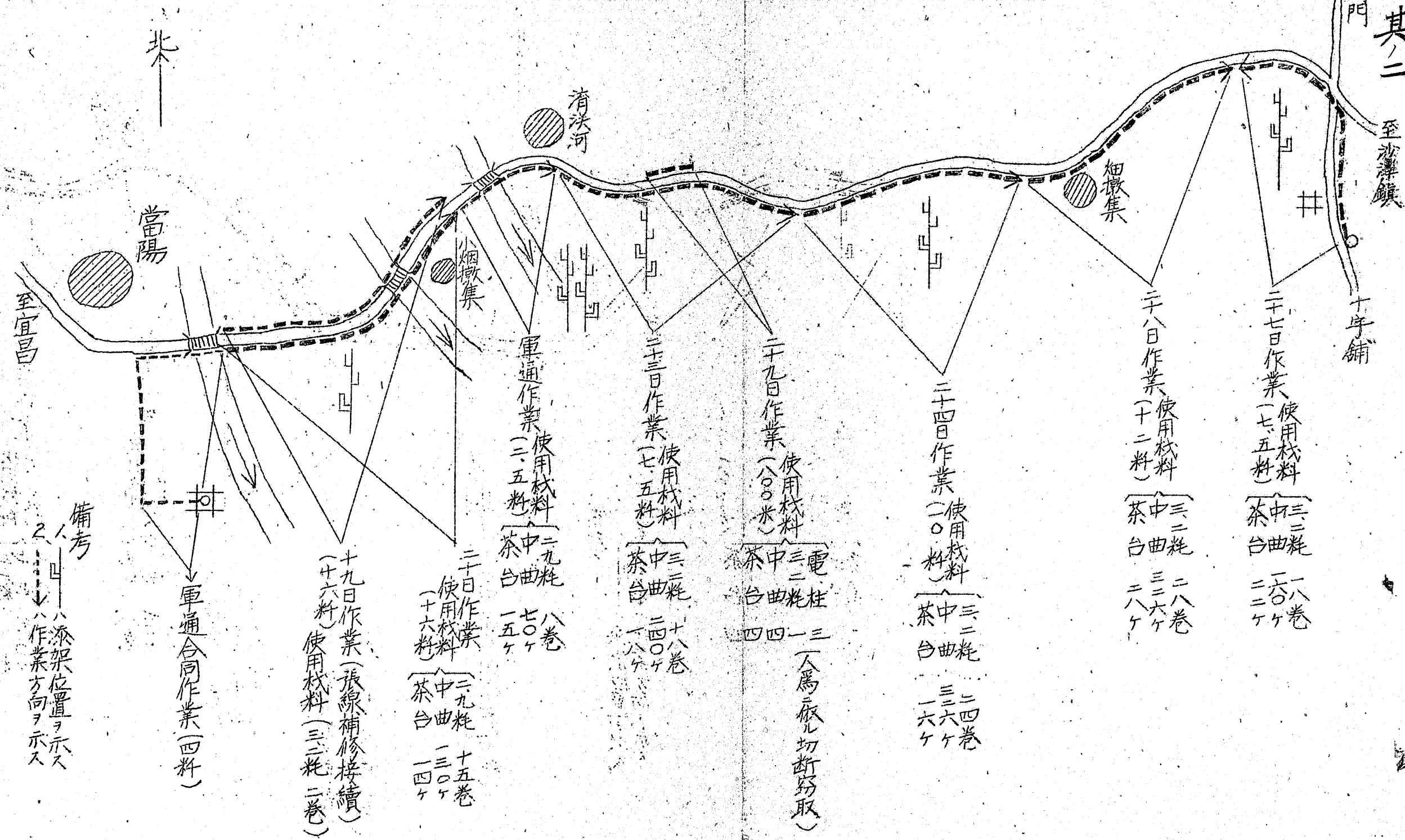


此間電柱高三四米之下新設七架必添架不能下(約三五米)



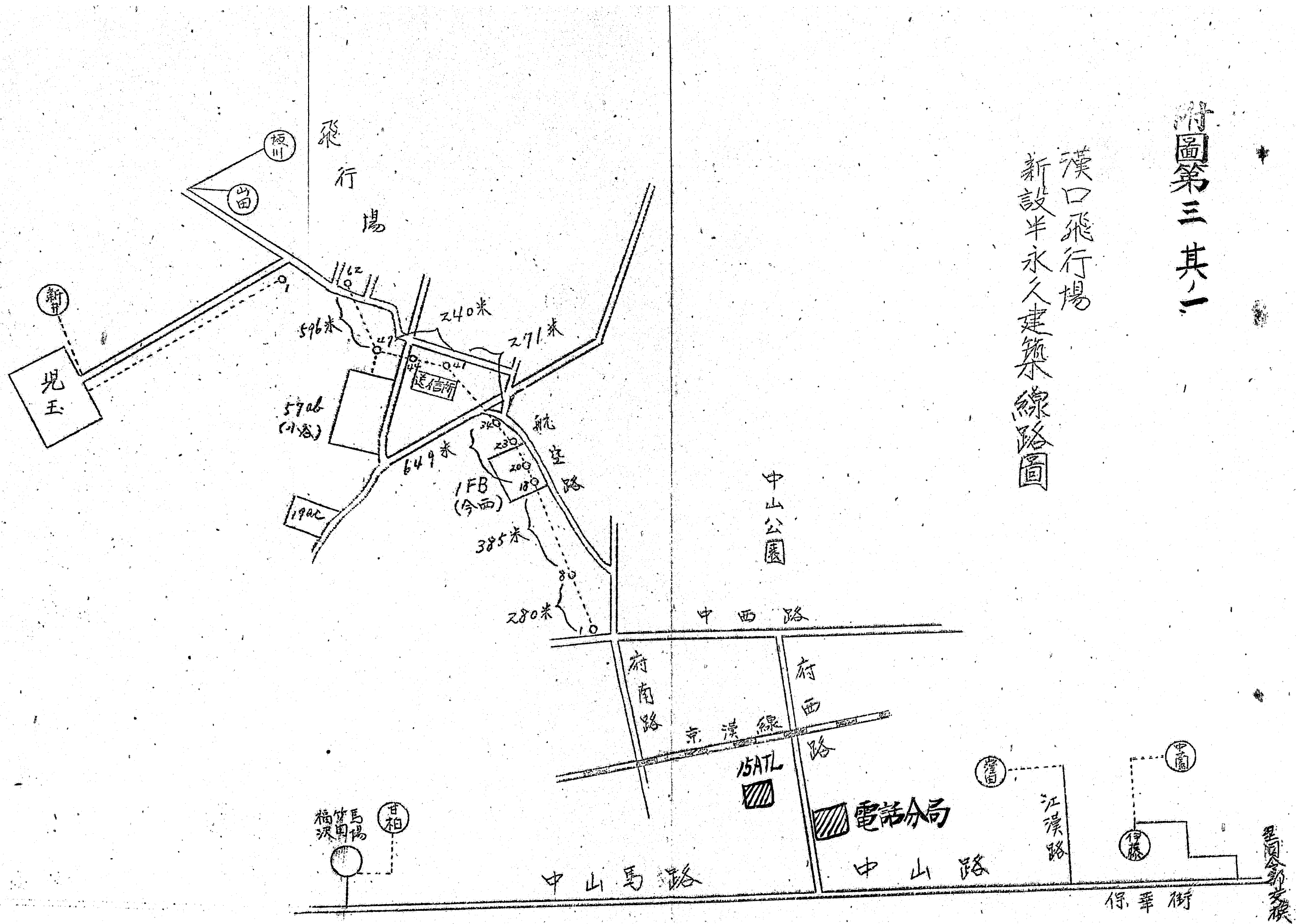
附圖第其二三

圖要施實業作間陽當—門荊

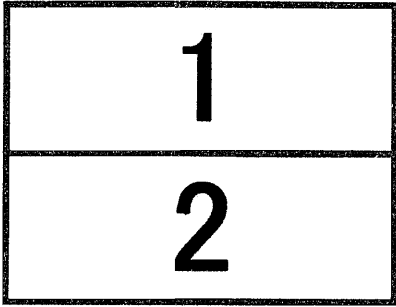


附圖第三其一

漢口飛行場
新設半永久建築線路圖



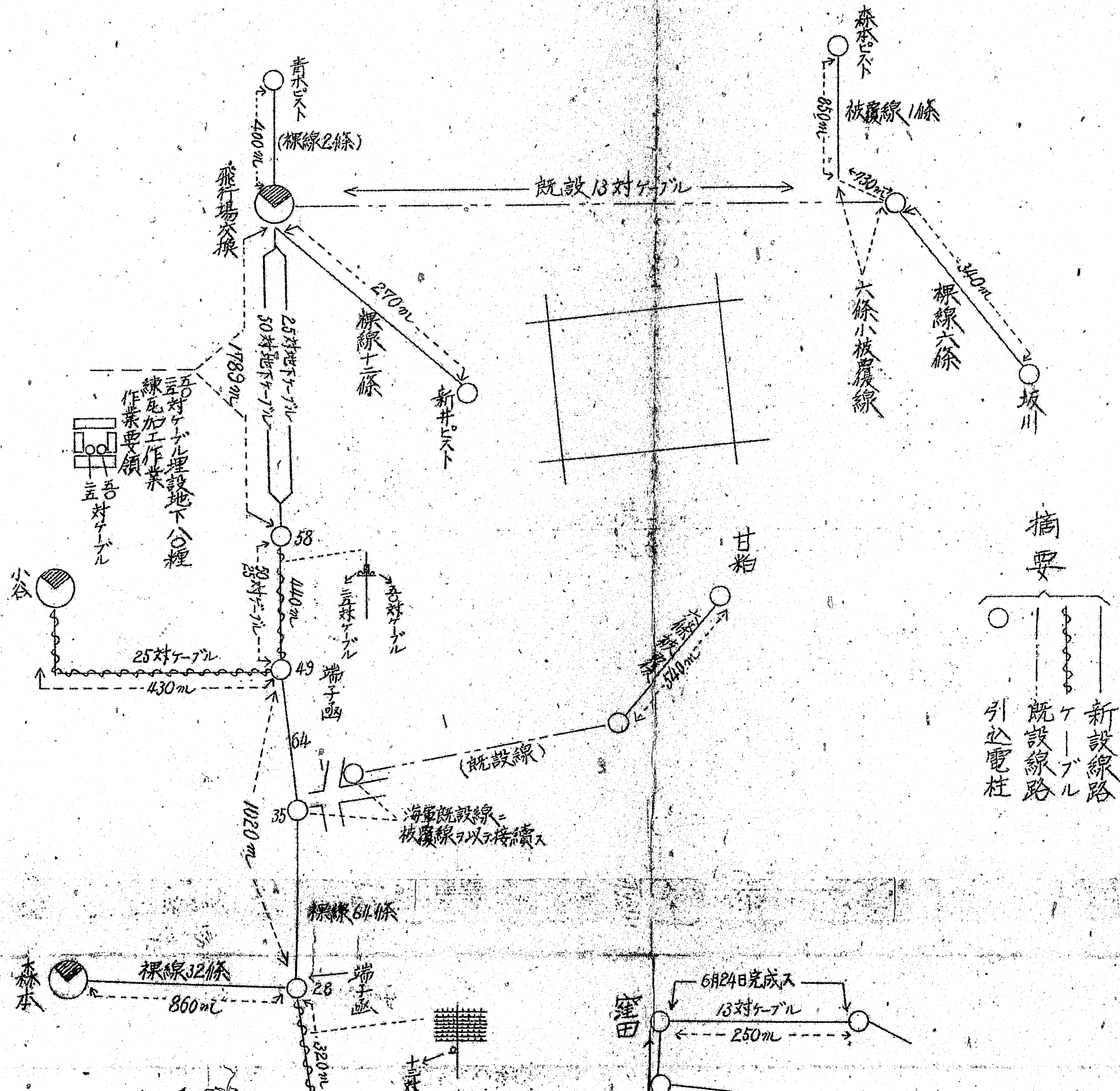
分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 版 以 上 の た め
文書等名	漢口地区新設有線通信網 構成実施要図
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

0581
0582

附圖第三其二

漢口地區新設有線通信網構成實施要圖



摘要

- 新設線路
- 既設線路
- 引込電柱

實施要圖

